

独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立中央青少年交流の家実習生受入実施要項

1. 趣旨

国立中央青少年交流の家（以下、「交流の家」という。）は、社会教育士をはじめとする社会教育・青少年教育に関する人材の育成や、交流の家での業務経験を通して学生等に高い職業意識を醸成することを、国立青少年教育施設の役割と捉え、社会教育実習やインターンシップ等を積極的に受け入れることとし、必要な事項を本要項に定める。

2. 対象

実習に真摯に取り組む意志があり、かつ、社会人としてのルール・マナーを遵守し、適切な言動がとれる、以下の学生等を実習の対象とする。

(1) 社会教育実習生

社会教育士の資格取得や社会教育指導者としての専門的な知識・技術の習得を目的とする学生等

(2) インターンシップ

交流の家での実際の業務に接することにより、学習意欲を喚起し高い職業意識を持つことを目的とする学生等

(3) その他実習生

その他、(1)(2)に類する目的の学生等

3. 実習の内容

青少年教育に関する知識・技術の習得に加え、青少年教育指導者や社会人として、高い識見と人格を有することに努める意欲や態度を育成する。

なお、実習計画は、交流の家が別に定める「青少年教育施設実習カリキュラム」を基に、国公立、私立の大学等若しくは関係団体等（以下「委託機関」という。）の方針等を踏まえ、実習生の要望を取り入れ立案する。

4. 実習の指導

実習の指導は、交流の家の全職員が行うことを基本とする。

また、実習計画の立案や実習の指導・助言・評価を行う者を指導担当者とし、専門職以上があたる。

5. 実習の申込み

(1) 委託機関の長は、申請書（様式1）及び個人調書（様式2）を、交流の家の所長に提出する。

(2) 所長から、委託機関の長に受入許可書（様式3）を送付する。ただし、同時期に申込者が多数ある場合は、当該機関に対して調整を行うとともに、場合によっては選考とする。

6. 実習証明書等の交付

委託機関から、実習生の実習事項についての証明や評価の依頼があった場合は、実習証明書等を交付する。

7. 実習の経費

- (1) 社会教育実習の実習料は一人1回につき4,000円とし、実習の開始前に納入する。
実習開始前の納入が出来ない場合は別途相談する。なお、納入した実習料の返納は、特別の事情が有る場合を除いて出来ない。
- (2) 実習に必要な教材費、交通費、食費、寝具費等は実習生の負担とする。なお、これらの経費は交流の家が指定する方法で納入する。

8. その他

- (1) 実習生は、当該実習を対象とする賠償責任保険及び傷害保険に加入する。
- (2) 実習生は、交流の家の規則を遵守する。
- (3) 実習生が交流の家の規則に反したり、職員の指導等に従わなかったりした場合、また、実習生としてふさわしくない行為をした時は、実習を中止することがある。
- (4) 委託機関は、実習内容が交流の家の利用者や事業の参加者に直に接するものであることから、実習生に対して、社会人として求められるルールやマナーを遵守し、社会人としてふさわしい言動がとれるように、事前の指導を行う。
- (5) その他、実習に必要なことは別に定める。

様式1

整理番号第 号
令和 年 月 日

独立行政法人国立青少年教育振興機構
国立中央青少年交流の家所長殿

住 所
委託機関名
委託機関の長 ○ ○ ○ ○

受託実習生の委託について（申請）

別紙名簿の者を受託実習生として、貴施設に委託したいので受入れを許可くださるよう
個人調書を添えて申請いたします。

個人調書				(年 月 日現在)
履 歴 事 項	ふりがな		性別	
	氏名			
	生年月日	年 月 日		
	現住所	都道府県		
	本人の連絡先	電話番号： メール：		
	実習期間中の居所	都道府県		
	緊急時連絡先	氏名： (続柄：) 電話番号： メール：		
	所属・学校名等			
	資格・特技等			
希望事項	実習事項			
	実習期間	年 月 日 ~ 年 月 日 年 月 日 ~ 年 月 日 年 月 日 ~ 年 月 日		
備考				

※ 実習期間が2回以上のときは、それぞれの実習期間を記入すること。

ご記入いただいた個人情報は、「独立行政法人国立青少年教育振興機構が保有する個人情報の適切な管理に関する規程」等に基づき適切に管理し、実習に関する事務のみに使用し、法令等に定める場合を除いて第三者に開示することはありません。

なお、実習中に撮影した写真等を当機構の事業に関する報告書や広報等に使用することがありますので、ご了承ください。

実習後、機構の教育事業等の開催要項などを送付してもよろしいですか。 はい いいえ (口にチェックをつけてください)

様式3

整理番号第号
令和 年 月 日

委託機関名
委託機関の長 ○ ○ ○ ○ 殿

独立行政法人国立青少年教育振興機構
国立中央青少年交流の家
所長 ○ ○ ○ ○

実習生の受入れについて（回答）

令和 年 月 日付け○○第○○号で申請のあった下記の者の実習生受入れについては、申請どおり許可します。

記

○ ○ ○ ○ ほか ○○名

様式 4

整理番号 第 号
令和 年 月 日

委託機関名
委託機関の長 ○ ○ ○ ○ 殿

独立行政法人国立青少年教育振興機構
国立中央青少年交流の家
所長 ○ ○ ○ ○

実 習 証 明 書

下記の者は本施設において、実習生として実習したことを証明する。

記

氏 名	実 習 期 間	実 習 事 項